

原子力総合シンポジウム 2007 (日本学術会議総合工学委員会主催)
2007 National Symposium on Atomic Energy, Tokyo, Japan

主調テーマ「エネルギーセキュリティと地球環境問題の一体的解決に向けて」

会 期 2007年5月30日(水)～31日(木)

会 場 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)

開催趣旨 原油価格の高騰をはじめ、世界の厳しいエネルギー情勢と環境問題を踏まえ、エネルギー安全保障を核とした「新・国家エネルギー戦略」が国から公表され、戦略によって実現を目指す目標として、「国民に信頼されるエネルギー安全保障の確立」、「エネルギー問題と環境問題の一体的解決による持続可能な成長基盤の確立」、「アジア・世界のエネルギー問題克服への積極的貢献」が提言されている。科学と技術は、これらの目標を実現するためにどのように貢献できるか、またその果たすべき役割について、多方面からの専門家の方々の講演と質疑応答を通し、共通の理解を深めるとともに課題を明らかにし、今後の方向を探る。

5月30日(水)

司会：森 治嗣(東京電力)
開会の辞(10:00-10:10)
挨拶(10:10-10:20)
・特別講演(10:20-11:10)
原子力学界の当面する重要課題
・基調講演(11:10-12:00)
新たな視点で原子力産業を見る～消費者満足，地域満足，社会満足，従業員満足

(敬称略)
矢川元基(運営委員長)
金澤一郎(日本学術会議)
近藤駿介(原子力委員会)
荒木由季子(国土交通省)

司会：飯井俊行(福井大学)
・パネルディスカッション(13:00-15:00)
エネルギー教育 持続可能な成長基盤の確立へ向けた産・官・学一体の取り組みの始まり
モデレータ：飯井俊行(福井大学)
パネリスト：山野智寛(文部科学省)，野田耕一(経済産業省)，長谷川 信(日本原子力研究開発機構)，河原 暉(日立製作所)，辻倉米蔵(関西電力)，上坂 充(東京大学)，榎田洋一(名古屋大学)，小野綾子(北海道大学院生)

・パネルディスカッション(15:15-17:00)
エネルギー政策基本法制定の経緯と我が国の長期資源エネルギー政策
モデレータ：山地憲治(東京大学)
パネリスト：甘利 明(経済産業大臣)，斉藤鉄夫(衆議院議員)，大畠章宏(衆議院議員)，柳瀬唯夫(経済産業省)，小川順子(WIN-Global/WIN-Japan)

5月31日(木)

司会：澤田 隆(三菱重工業)
・特別講演(10:10-11:00)
原子力安全を巡って よりロバスタな仕組みは
・招待講演(11:00-11:50)
国際エネルギー情勢と日本の戦略

鈴木篤之(原子力安全委員会)
十市 勉(日本エネルギー経済研究所)

・環境とエネルギーセキュリティ両立への課題(13:00 -16:45)

司会：松井一秋(エネルギー総合工学研究所)

(1) 民生家庭部門の省エネルギー推進に対するエネルギー環境教育の役割(20分)

大庭みゆき(環境エネルギー総合研究所)

(2) 二酸化炭素の地中貯留技術の現状と展望(20分)

駒田広也(電力中央研究所)

(3) 再生可能エネルギーの果たす役割(20分)

疋田知士(エネルギー総合工学研究所)

(4) 原子力発電所の新增設・代替にむけて

新田隆司(日本原子力発電)

司会：岡 芳明(東京大学)

(5) 世界的な原子力平和利用の拡大と核不拡散の両立への日本の取組み(20分)

水元伸一(経済産業省)

(6) 高速増殖炉サイクルの早期実現(20分)

向 和夫(日本原子力研究開発機構)

(7) 国際協力による核融合エネルギーの実現(20分)

松田慎三郎(日本原子力研究開発機構)

(8) 高出力レーザーの原子力応用-レーザー核科学と高速点火レーザー核融合の展望-(20分)

三間園興(大阪大学)

閉会挨拶(16:45 -17:00)

田中俊一(日本原子力学会)

● 参加費および参加登録 無 料 (講演論文集は希望者に実費 5000 円で配布)

● 問合せ先 社団法人 日本原子力学会 事務局内 TEL 03 -3508 -1261 , FAX 03 -3581 -6128 ,

E-mail kikaku@aesj.or.jp ; URL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/>

主 催 日本学術会議総合工学委員会

共 同 主 催 [38 学協会 50 音順]

エネルギー・資源学会 (社)化学工学会 (社)火力原子力発電技術協会

(社)空気調和・衛生工学会 (社)計測自動制御学会 (財)原子力安全研究協会

(社)資源・素材学会 (社)電気化学学会 (社)電気学会

(社)土木学会 (社)日本アイソトープ協会 (社)日本医学放射線学会

(社)日本化学会 日本核医学会 (社)日本機械学会

(社)日本空気清浄協会 (社)日本建築学会 (社)日本高圧力技術協会

日本混相流学会 日本シミュレーション学会 (社)日本セラミックス協会

日本地球化学会 日本地質学会 (社)日本電気協会

(社)日本非破壊検査協会 日本複合材料学会 (社)日本分析化学会

日本放射化学会 日本放射線影響学会 (社)日本放射線技術学会

日本保健物理学会 (社)日本溶接協会 (社)日本流体力学会

(社)粉体粉末冶金協会 (社)プラズマ・核融合学会 (社)溶接学会

(社)レーザー学会 [幹事](社)日本原子力学会

後援機関(予定)

(財)エネルギー総合工学研究所 原子力委員会 原子力安全委員会

男女共同参画学協会連絡会 (財)電力中央研究所 (独)日本原子力研究開発機構

(社)日本原子力産業協会 (財)日本原子力文化振興財団 (社)日本電機工業会

日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)は地下鉄 千代田線 乃木坂駅すぐ